

平成30年度「みえの現場 “やっぱし” すこいやんかトーク」(津市)の概要

平成30年4月9日(月)津市芸濃町「デイサービスのぞみ」にて「みえの現場 “やっぱし” すこいやんかトーク」を開催しました。

当日は、「NPO法人安濃津福社会」の皆さんから、地域の高齢者や子どもたち、ボランティアスタッフなどが立場を超えて支え合う、共生の社会づくりの取組についてお話を伺いました。



【参加者からの発言】

自己紹介、団体の活動概要の紹介の後、知事とフリートークを行いました。

Q スタッフとして関わって嬉しかったことや、施設を利用して良かったことなどを聞かせてください。

○エンジニア出身でコミュニケーションに苦手意識もありましたが、この仕事を通じて少しずつ自分が変わっていき、皆さんとの縁が繋がったことを嬉しく思っています。

○放課後児童クラブの子どもたちが来所するようになってから、デイサービスを利用する高齢者の表情が、これまで見たことがないほど明るくなり、子どもたちも元気に挨拶していて、そんな姿を見ると本当に嬉しいです。

○利用者も職員もみんな仲が良いのが自慢です。息子がここの放課後児童クラブを利用していますが、学校や施設でのことを沢山話してくれて、仕事面でも子育て面でも皆さんに助けられています。

- サービスを利用した日は、自宅に帰った後ぐっすり眠れます。介護職は大変な仕事だと思えますし、職員の皆さんには本当に感謝しています。ここへ来て子どもたちに昔言葉を教えるのも今は一つの楽しみになっています。
- 職員の皆さんは本当に忙しく利用者をケアされています。休憩もあまりないのではないかと心配するほどで、涙が出るほど感謝しています。
- 地域の課題に対応するため始めた放課後デイサービスや児童クラブの子どもたちを、働く皆さんが温かく迎え入れてくれました。当会の理念が職員や利用者伝わっているからこそできたことであり、誇りに思っています。
- 自分が考えた療育プログラムを利用したお子さんが、挨拶などをしっかりできるように成長したことを、親御さんから感謝されたときは嬉しくなります。
- 通い始めたときは鉛筆を握れなかったお子さんが、旅行の感想文を書いてくれるなど、設定した課題にしっかりと応えて成長してくれる姿に喜びを感じます。
- 障がいを持つ利用者と子どもたちが交流する中で、コミュニケーションをとりながら自然にサポートすることを身に付けられる場ができたことは、同じ想いに共感してくれる周囲の協力のおかげだと感謝していますし、この施設の強みと思っています。

Q これからやりたいことなどを聞かせてください。

- この仕事は、とても誇れる職業だと思っていますが、志を持って共に学び、この業界に飛び込んだ同期の仲間の多くが離職しており、介護職は家庭との両立が難しい職種だと感じています。息子が将来、介護職に就きたいと言った時に背中を押してあげられるような環境にしなければと思います。自分たちがここで教えてもらった想いや介護でしか学べない経験を、次の若い世代につないでいきたいと思っています。
- 就労が困難な若者の支援にも関わっていますが、不登校などを経て働くことができなかつた若い方に、この施設を手伝ってもらいながら社会復帰につなげていくような支援に取り組んでみたいと思っています。
- 介護報酬が改定され、ますます厳しい経営環境が見込まれますが、地域包括ケアという意味で、各地域の小規模事業所が果たす役割は重要になると考えています。ここでの取組を、三重発の小規模多機能福祉のモデルとして広めていきたいと思っています。

【知事の発言】

- 高い志を持って介護の職場に就いた皆さんが働き続けられるよう、サポートの仕組みや再就職の支援などの施策を積み重ね、これからも環境づくりや人材の確保に取り組んでいきたいと思っています。
- 安濃津福祉会が、利用者や職員の皆さんにとって居心地の良い前向きな場所であることを改めて感じました。こうした場が県内に増えていくように努力していきたいと思っていますし、皆さんにはこれからも頑張ってくださいと思います。



「NPO法人 安濃津福祉会」は、人と地域と未来を良くすることをめざして、通所介護事業、訪問介護事業、居宅介護支援事業、民間学童保育事業を、津市内2か所（一身田、芸濃町）を拠点に活動しています。

家庭的な雰囲気大切に、地域の高齢者、子どもたち、ボランティアなど多世代がふれあい、学び、立場を超えて支え合う共生の地域づくりに取り組んでいます。